

魅力と活力ある県立高等学校づくりに向けて

～滋賀県立高等学校再編基本計画～

---

---

( 案 )

平成 24 年 10 月

滋賀県教育委員会

## 目 次

I	計画の策定にあたって	1
1	計画策定の背景と趣旨	1
2	基本計画の考え方	2
II	県立高等学校の現状と課題	3
1	社会の変化	3
2	生徒の進路希望や課題の多様化	3
(1)	生徒の多様化	3
(2)	生徒の志望や進路状況の変化	3
(3)	定時制・通信制課程の役割の変化	3
3	生徒数の推移と高等学校の規模の変化	4
(1)	中学校卒業（予定）者数の推移	4
(2)	生徒数の増減に伴う高等学校の規模の変化	4
4	教育環境の整備	4
III	魅力と活力ある県立高等学校づくりに向けて	5
1	魅力と活力ある県立高等学校づくりに向けて	5
2	県立高等学校再編の基本的な考え方	6
(1)	教育における不易の取組	6
(2)	魅力ある学校づくりの推進	6
(3)	活力ある学校づくりの推進	7
IV	再編を進めるにあたって	9
資 料		11
○	用語の説明	12
○	参考資料	15

## I 計画の策定にあたって

### 1 計画策定の背景と趣旨

本県では、生徒のニーズや時代の要請等に応じ、これまで県立高等学校の学科改編や特色ある学科やコースの設置をはじめ、中高一貫教育校の設置、全県一区制度の導入、入学者選抜制度の改善など、様々な県立高等学校改革に取り組んできました。

一方、情報分野をはじめとする科学技術の進展や、経済のグローバル化、少子高齢化など、社会が一層大きく変化する中で、生徒の進路等に対する考え方や課題の多様化、さらには規模の小さな学校の増加など、県立高等学校の教育環境は大きく変化しています。

このため、子どもたちへ豊かな教育環境を提供することを第一として、各学校における教育内容を充実させることは言うまでもなく、今ある教育資源を最大限活用しながら、教育予算の効果的な投資などにより、教育内容や教育環境を一段と向上させることが必要となっています。

こうした状況を受け、教育委員会では、平成20年7月に「県立学校のあり方検討委員会」を設置し、6回の審議を経た上で、平成21年3月に、県立高等学校の課程、学科、適正な規模・配置のあり方などについての「報告」をいただきました。

また、平成22年9月には、「第23期滋賀県産業教育審議会」から、これからの時代や社会に対応した本県職業系の学科や職業教育の方向性、本県産業の振興に寄与する人材育成などに関する「答申」をいただきました。

さらに、平成22年8月と11月に開催した「魅力と活力ある県立高等学校づくりに向けた意見を聴く会」などで、再編の必要性および教育委員会の再編に対する基本的な考え方をお示しし、県民の皆さんから様々な御意見をいただけてきました。

そして、これらの「報告」や「答申」における再編に関する方向性、さらには、県民の皆さんからいただいた御意見等を踏まえ、平成23年7月に滋賀県立高等学校再編計画（原案）を公表し、県民政策コメントを実施するほか、県民説明会や「地域の高等学校教育のあり方に係る意見を聴く会」などを開催し、県民の皆さんや教育関係者の皆さんなどから様々な御意見をいただけてきました。また、平成24年8月には、「第24期滋賀県産業教育審議会」から、社会の変化に対応した福祉科教育のあり方についての「答申」をいただいたところです。

県教育委員会では、これらの御意見等を踏まえ、「魅力と活力ある県立高等学校づくりに向けて～滋賀県立高等学校再編計画～」(以下「再編計画」という。)を策定し、これまで以上に魅力と活力ある県立高等学校の実現を目指してまいります。

## 2 基本計画の考え方

この滋賀県立高等学校再編基本計画（以下「基本計画」という。）は、平成33年度までの概ね10年後を見据えた、長期的かつ全県的な視野に立った県立高等学校再編の基本的な考え方を示すものです。

なお、具体的な再編内容については、別途作成する実施計画で示します。

## Ⅱ 県立高等学校の現状と課題

### 1 社会の変化

これからの社会は、少子化・高齢化をはじめ、情報化、グローバル化、科学技術の高度化が一層進展し、ますます複雑化・多様化が進むと考えられ、それに伴い家族形態や産業構造など、社会や経済が大きく変化することが予測されます。

こうした中、学校教育には普遍的な教育理念を大切にしつつ、社会の変化に合わせて対応していくことが常に求められています。

### 2 生徒の進路希望や課題の多様化

#### (1) 生徒の多様化

本県の平成 24 年 3 月中学校卒業者の高等学校等への進学率は 98.9%で、中学校卒業者のほとんどが高等学校に進学するとともに、複雑・多様化する社会状況を背景に、生徒の興味・関心や進路に対する考え方が一層多様化しています。また、自らの目標に向かって積極的に学校生活を送ろうとする生徒がいる一方で、目的意識が希薄である、人間関係づくりが苦手であるなど、様々な生徒が高等学校に入学するようになっています。

県立高等学校の中途退学者数は、ここ数年減少傾向にあるものの、400～500 人台で推移しており、退学の理由としては、進路変更や学校生活・学業不適応などが多くを占めています。こうしたことから、編入学による学び直しや転入学を希望する生徒は依然として多い状況にあります。

このような中、生徒の多様なニーズ等に応える学習内容等の充実や、様々な学習歴を持つ生徒に対応した取組が必要となっています。

#### (2) 生徒の志望や進路状況の変化

中学生の高等学校への志望状況を見ると、大学等への進学を見据えて普通科へ進学する傾向が高まるとともに、職業系専門学科の高等学校においても、上級学校へ進学する生徒が増加しており、高等学校卒業者の半数以上が大学等の上級学校へ進学する状況にあります。

このような中、勤労観・職業観の育成を図るとともに、職業系専門学科から上級学校への進学も視野に入れた教育内容の充実などが課題となっています。

#### (3) 定時制・通信制課程の役割の変化

定時制や通信制の高等学校は、従来の勤労青少年のための学校という色合いが薄れ、中途退学者や不登校経験のある生徒をはじめ、多様な生徒が入学しており、学び直しの学校としての役割が強まっています。

ここ数年の定員充足状況を見ると、通信制課程ではほぼ充足しているものの、定時制課程では、地域、学科、昼間・夜間の別により大きな差があり、特に職業系専門学

科を希望する生徒は少なくなっています。

このような状況を考え合わせると、定時制課程については必ずしも職業系専門学科である必要はないと考えられ、生徒のニーズに対応した見直しが必要となっています。

### 3 生徒数の推移と高等学校の規模の変化

#### (1) 中学校卒業（予定）者数の推移

県全体の中学校卒業生数は、平成2年3月卒業の20,747人をピーク（昭和39年に次ぐ戦後2番目）に減少傾向にあり、平成24年3月卒業生は14,226人と、ピーク時に比べ6,521人減少しています。

今後、全県的には増加傾向を示したのち、現在の小学校5年生が卒業する平成29年3月を境に、減少に転じていくと予測されます。

また、中学校卒業予定者数を地域別に見てみると、湖南地域（草津市・栗東市・守山市・野洲市）では今後も増加を続ける一方、それ以外の地域では、横ばいまたは減少傾向が予測されます。

#### (2) 生徒数の増減に伴う高等学校の規模の変化

県内には、中学校卒業生数の減少により、すでに規模の小さな学校が多くを占める地域があります。こうした地域でさらに生徒数が減少していくと、学校の小規模化が一層進むことが予測されます。

一方、中学校卒業生数の増加が続く地域では、今後とも規模の大きな学校が多い状況が続くと見込まれます。

こうした中、多様な生徒との出会いや互いに切磋琢磨する機会の確保、部活動や学校行事などの充実、進路希望等に応じた教育の提供、生徒と教員とのコミュニケーションの確保など、高校教育において考慮しなければならない様々な要素を踏まえながら、学校の教育力が高まるよう学校の規模や配置を見直す必要があります。

### 4 教育環境の整備

生徒に対し、時代に対応した豊かな教育環境を提供するためには、施設・設備の修繕、図書や教材機器の購入、備品などの更新・修繕が必要です。

このため、限られた教育資源を最大限に活用しつつ、より効果的・効率的な学校運営を行うとともに、教育予算の効果的な投資などにより、教育環境の整備を図ることが必要となっています。

### Ⅲ 魅力と活力ある県立高等学校づくりに向けて

#### 1 魅力と活力ある県立高等学校づくりに向けて

高等学校には、生徒に一般的な教養を高め、専門的な知識、技術および技能を習得させるとともに、その個性に応じて将来の進路を決定し、自ら意欲を持って学び考える力、豊かな人間性や創造性などを養い、変革の時代にあっても自ら未来を切り拓く力をはぐくむことが求められています。

高等学校がこのような役割を果たすには、社会の変化や生徒の多様化、生徒数の減少への対応など、教育内容の充実とともに教育活動が効果的なものとなるよう教育環境を整えていくこと～魅力と活力ある学校づくり～が必要です。

魅力と活力ある学校とは、生徒が自らの興味・関心、進路希望等に応じた学習ができる学校であり、学校行事や部活動などの取組を活発に行うことができたり、多様な生徒や教師との幅広い出会い、集団活動を通して互いに刺激し合うことができる学校であり、希望する進路が実現できる学校、自己実現ができる学校です。

このため、いつの時代においても変わることのない普遍的な教育理念を大切にしつつ、次の視点で高等学校の再編に取り組みます。

#### 魅力ある学校づくり（多様な学校選択肢等の提供）

生徒の興味・関心や進路希望等に応じた高等学校教育を提供するため、高等学校に対する県民の期待、社会の要請などを踏まえた上で、教育内容の質的充実を図り、魅力ある高等学校教育を展開します。

#### 活力ある学校づくり（豊かな教育環境の提供）

多様な選択科目の開設をはじめ、部活動や学校行事などの集団活動の活性化、施設や設備の効果的・効率的な利用等の観点から、県立高等学校の活力の維持向上を図ります。

## 2 県立高等学校再編の基本的な考え方

高等学校に入学するすべての子どもたちが、充実した学校生活を送る中で、希望する進路を実現し、また自己実現を図ることができるよう、次の考え方で県立高等学校の再編を進めます。

### (1) 教育における不易の取組

子どもたちが、社会の中で自らの役割を果たし、信頼されながら人生を歩むことができるよう、自分自身を鍛え伸ばし、社会と共同できる資質を育てます。

#### ア 基礎・基本の徹底

自ら学び考える力や社会の変化に対応できる資質や能力を育成するため、そのベースとなる基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得に向けて、基礎・基本の徹底を図ります。

#### イ 自主自律の精神の涵養

学級活動や部活動、学校行事などの集団活動の中で、自ら考え行動することにより、他者と豊かにコミュニケーションを図ろうとする態度や、社会生活を送るうえで持つべき規範意識などの自律性や社会性を育みます。

#### ウ 自然や地域と共生する力の育成

滋賀県が有する豊かな自然、歴史、文化、産業、地域コミュニティなどの様々な地域資源を活かした教育活動を展開し、自分たちが育ってきた地域に愛着を持ち、社会の一員として地域に貢献しようとする態度を養います。

### (2) 魅力ある学校づくりの推進

社会の進展、地域や産業界の要請などを踏まえつつ、生徒自らの興味・関心や進路希望等に応じて、学びたい教科や科目等を学習し、将来の生活や職業に役立つ知識・技能を積極的に学ぶことができるよう、すべての高等学校においてそれぞれの教育目標等に応じた魅力ある学校づくりに取り組みます。

#### ア 新しいタイプの学校の設置

生徒の多様な学習ニーズや進路希望等に対応し、生徒一人ひとりの個性や能力に応じた教育の推進を図る新しいタイプの高等学校として、単位制による全日制課程および定時制課程を併置した総合単位制高等学校を設置します。

#### イ 時代に対応した教育の推進等

生徒の多様化を踏まえ、各学校の教育目標に応じた教育内容や指導方法の充実・改善を一層図ります。

また、将来の科学技術を支える人材やグローバル社会で活躍する人材の育成など、



これからの社会の進展を見据えた教育内容の充実等を図ります。

#### ウ キャリア教育の推進

生徒に勤労観・職業観を身につけさせるとともに、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を育むため、キャリア教育の視点を踏まえた教育内容の充実等を図ります。

#### エ 職業教育の充実

学校の教育資源等を活かした特色化を一層推進するとともに、施設・設備の効率的な活用や集中的な投資などにより専門性を維持向上できるよう、職業系専門学科の集約化を図ります。

また、細分化されすぎている小学科を整理・統合し、知識や技能の高度化に対応できる基礎的・基本的な学習等を重視するとともに、学習内容を理解しやすい名称に改めます。

高等学校段階での職業教育をもとに、上級学校へ進学してさらに高度な知識・技能を身につけるといふ専門教育や資格取得のあり方を踏まえ、学科の改編や教育内容の充実を図ります。

#### オ 多様な学びの提供

多様な学びの機会を確保し、生徒の進路希望等に応じた教育を行うため、総合学科の設置や教育内容の充実を図ります。

#### カ 定時制課程の見直し

定時制課程の役割の変化や、単位制による全日制課程を併置した新たな総合単位制高等学校を設置することなどを踏まえ、地域の実情等に配慮しながら定時制課程の配置を見直します。

また、3年での卒業や転編入学を容易にするなど、生徒の多様なニーズに柔軟に対応できる教育課程が編成できるよう学科の改編等を行います。

#### キ 中高一貫教育校の方向性

本県では、平成15年度に新たな学校選択肢を提供することを目的として、併設型中高一貫教育校を3校設置し、6年間の特色ある教育課程のもとで、個性や創造性を伸ばす教育を展開しています。一方、新たな中高一貫教育校を設置することは、地域の中学校の学級編成などに及ぼす影響も大きいと考えられることから、当面は既設3校としながら、再編による生徒の動向を見据えつつ検討を行ってまいります。

### (3) 活力ある学校づくりの推進

学校は生徒が社会でより良い人間関係を結び、共同で仕事をするための資質を育てるなど、人と人との共同に向けた基盤をつくる場です。共同体においてそれぞれの個人が責任を持つために、自分自身を鍛え伸ばすこと（主体性）、共同できる資質を育

てること（社会性）が大切です。

こうした資質や能力は、授業や学校行事、部活動など教育活動のすべての中で育まれていくと考えられます。

このため、自分の興味・関心や意欲をかき立てるものと出会い、様々な考え方や能力を持った友人との出会いなど、より多くの教育プログラムや教員、生徒と出会える環境づくりに取り組みます。

#### **ア 標準とする学校規模**

高等学校全日制課程の学校規模については、県立学校のあり方検討委員会の報告を踏まえ、多様な科目の開設など幅広い教育課程の編成、生徒が切磋琢磨する機会の確保、学校行事・部活動など集団活動の円滑な実施など様々な要素を勘案して、1学年あたり概ね6学級から8学級を標準とします。

#### **イ 学校の統合等**

現在、通学区域が全県一区制のもとであっても、普通科で8割程度の中学生が地域の高等学校に進学する状況にあることなどから、地域ごとの生徒数の推移を見据えつつ、標準を下回る規模の学校が多くを占める地域において、学校の配置バランス、学科の特性、地理的条件などの地域性、学びの多様性の確保等を考慮しながら、学校の統合等を行い、地域全体の学校活力の維持向上を図ります。

## VI 再編を進めるにあたって

再編を進めるにあたっては、次のことに留意しながら進めていきます。

- 1 全県一区制度のもとであっても、全日制高等学校の普通科進学者の約8割が地域の高等学校に進学していること等を踏まえ、それぞれの地域の実情に配慮しながら進めます。
- 2 再編計画の実施に際して混乱が生じないように、計画内容と進め方を県民に広く周知しながら進めます。
- 3 学校の統合にあたっては、対象校のこれまでの特色や伝統、成果等を新しい学校における教育活動の中に活かすなど、発展的な再編になるよう取り組みます。
- 4 県立高等学校の募集定員については、地域ごとの中学校卒業予定者数や進学志望の動向などを踏まえ、それぞれの年度において、地域ごとの定員を確保していきます。
- 5 再編計画の円滑な実施を図るため、教育環境の整備に伴う経費について、計画的に予算措置を行います。



# 資 料

○ 用語の説明	12
○ 参考資料	
1 県立学校一覧（平成 24 年度）	15
2 県立高等学校課程・学科地域別配置一覧（平成 24 年度）	16
3 中学校卒業（予定）者の推移（全県）	17
4 中学校卒業（予定）者の推移（地域別）	18
5 中学校卒業生数、高校等進学志望率、高校等進学率、就職率推移	19
6 全日制高等学校における普通科・専門学科・総合学科別の進路状況	20
7 県立高等学校（全日制）の第 1 学年募集定員による学校規模（地域別）	21
8 高等学校（全日制）第 1 学年募集定員の学級数別学校数の全国比較	22

## 用語の説明

### 【高等学校の区分】

高等学校は、授業を行う時間帯や方法などの違いにより「全日制課程」、「定時制課程」または「通信制課程」に区分され、さらに学年による教育課程の区分を設ける「学年制」とその区分を設けない「単位制」に分けられます。

また、教育内容により「普通科」、「専門学科」（農業学科、工業学科、商業学科、理数学科、音楽学科等）および「総合学科」の3つの学科に区分されます。

### 【課程の区分】

#### ＜全日制課程＞

全日制課程は、週当たり 30 単位時間を標準として授業を行う課程で、修業年限は3年となっています。

滋賀の県立高等学校で全日制課程を置く学校は 46 校で、普通科、専門学科（10 学科）、総合学科の計 12 学科が設置されています。

#### ＜定時制課程＞

定時制課程は、夜間その他特別の時間帯に授業を行う課程で、修業年限は3年以上となっています。

卒業するまでに通常4年かかりますが、学校によっては、併修や学校以外で単位を修得する制度等を活用することにより、3年で卒業することも可能です。

県立高等学校で定時制課程を置く学校は、5校1分校で、そのうち全日制との併置校は3校、単独校は2校、他の高等学校と同一敷地内に設置されている分校が1校となっています。

学科としては、普通科と専門学科（工業学科、商業学科）が設置されています。

#### ＜通信制課程＞

通信制課程は、主に通信による教育を行う課程で、修業年限は3年以上となっています。

学びの形態としては、自主学習により自宅で勉強してレポートを作成し、その添削指導を受けることを中心に学習を進めることを基本とします。同時に、月に数回程度（2週間に1回程度）は登校し、面接指導（スクーリング）を受け、添削指導、面接指導、試験等を通じて単位が認定されます。

県内には大津清陵高等学校に通信制の普通科が設置されています。

## 【学年制と単位制】

学年制は、学年ごとに定められた科目等を履修し、決められた単位数を修得した場合に次学年に進む方式で、年度末に各学校が個々の生徒に対して進級の認定（認定されないと原級留置（いわゆる「留年」））を行います。最終学年の課程を修了し、全課程の修了が認められれば卒業することができます。

単位制は、学年による教育課程の区分を設けない方式で、原級留置の考え方はとりません。一定期間（修業年限は全日制課程では3年、定時制課程・通信制課程では3年以上）在学し、必要な単位修得などの条件を満たし、全課程を修了したと認められれば卒業することができます。

従前は「学年制」による教育のみでしたが、昭和63年度に「単位制」による教育が定時制課程と通信制課程において認められ、さらに平成5年度には全日制課程にも認められました。

## 【学科・コース・系列】

### ＜学科＞

学科は、中学校教育の基礎の上に、さらに幅広い教養を身に付けることをねらいとする「普通科」と、専門に関する知識・技術を身につけることをねらいとする「専門学科」、普通科と専門学科の両方の内容を幅広く学習できる「総合学科」に大別されます。

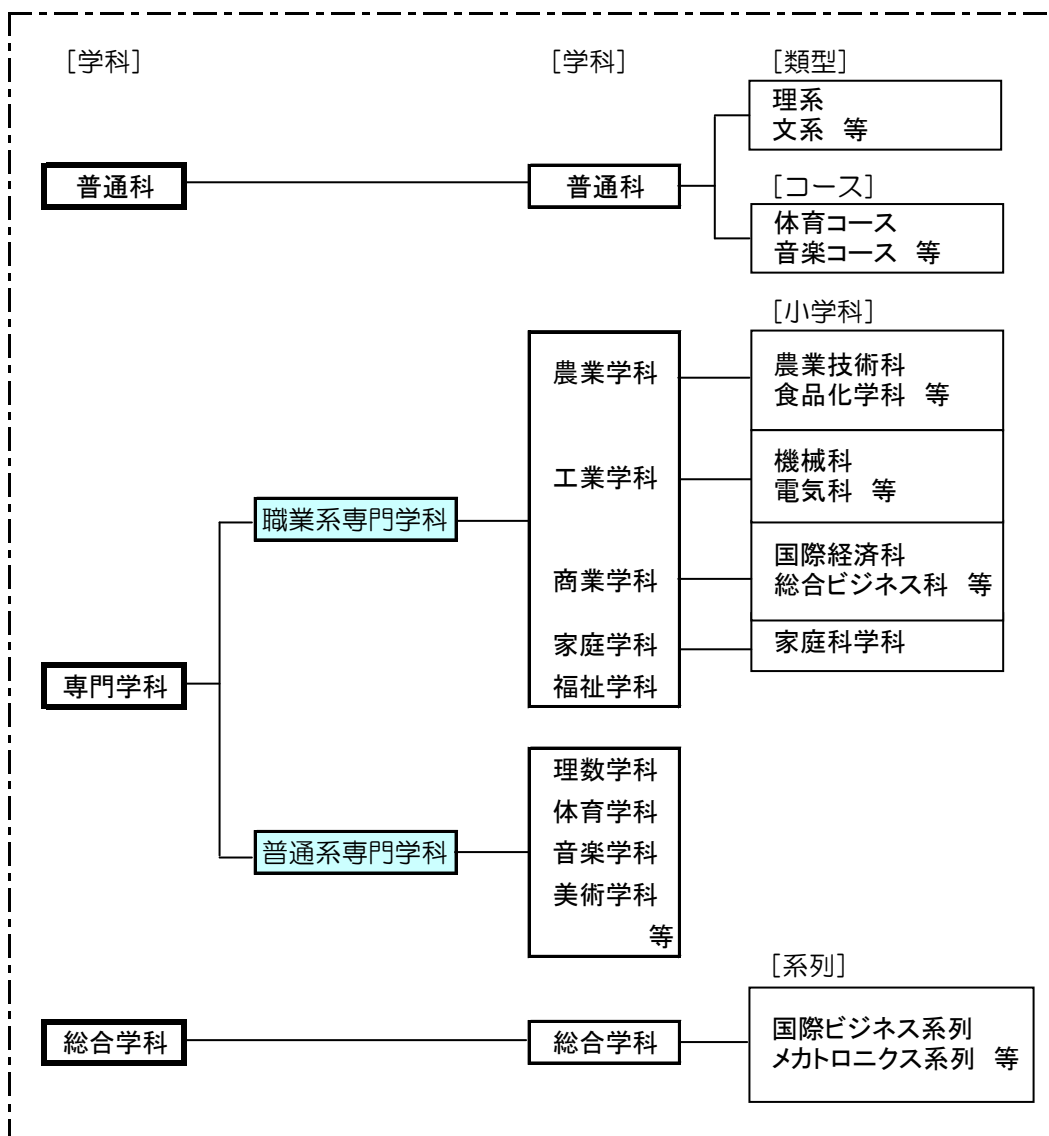
また、「普通科」「農業学科」のようないわゆる「大学科」とその下位で細分化される「機械科」「セラミック科」等のいわゆる「小学科」とを区別して使用しています。

専門学科は、農業学科、工業学科、商業学科、家庭学科、福祉学科等のような「職業教育を主とする専門学科」と、理数学科、音楽学科、体育学科、美術学科、国際学科等のような「普通教育の特定分野をより高度に拡充させた専門教育を行う学科」に区分され、本計画ではそれぞれ「職業系専門学科」「普通系専門学科」と呼びます。

### ＜コース・系列＞

普通教科を学びながら興味・関心のある特定の分野を深く学習するために、一定の系統だった特色をもった科目を配列して教育課程を編成したものをコースといいます（体育コース、音楽コースなど）。

系列とは、総合学科において、生徒自身の興味・関心や進路の方向に沿った科目履修ができるように、相互に関連する普通科目や専門科目を科目群としてまとめたものをいいます。



### 【総合単位制高等学校】

総合単位制高等学校とは、全日制課程と定時制課程（午後部・夜間部など）が併置された単位制による高等学校をいいます。

定時制課程では、1日4時間の学習を基本としますが、生徒一人ひとりが自分に合った時間割を組み、所属する課程・部以外の授業を受けることにより、3年で卒業することが可能です。



参考資料

1 県立学校一覽(平成24年度)

学校名	学科名	科名	学級数			学科計	学校計	
			1年	2年	3年			
県立高校全日制								
膳所	普通	普通	10	10	10	30	33	
		理数 理数	1	1	1	3		
堅田	普通	普通	5	5	6	16	16	
東大津	普通	普通	10	10	10	30	30	
北大津	国際	国際文化	5	4	4	13	16	
		国際文化	1	1	1	3		
大津	家庭	普通	6	6	6	18	24	
		家庭科学	2	2	2	6		
石山	音楽	普通	8	8	8	24	27	
		音楽	1	1	1	3		
瀬田工業	工業	機械	3	3	3	9	21	
		電気	1	1	1	3		
		情報電子	2	2	2	6		
		化学工業	1	1	1	3		
大津商業	商業	総合ビジネス	5	5	5	15	21	
		情報システム	2	2	2	6		
草津東	体育	普通	7	7	8	22	25	
		体育	1	1	1	3		
草津	普通	普通	6	6	6	18	18	
玉川	普通	普通	7	6	8	21	21	
湖南農業	農業	農業技術	1	1	1	3	12	
		園芸工学	1	1	1	3		
		食品化学	1	1	1	3		
		環境緑地	1	1	1	3		
守山	普通	普通	6	6	6	18	18	
守山北	普通	普通	5	4	5	14	14	
栗東	美術	普通	6	5	5	16	19	
		美術	1	1	1	3		
国際情報	総合	総合	6	6	6	18	18	
野洲	普通	普通	5	4	4	13	13	
水口	国際	普通	5	5	6	16	19	
		国際文化	1	1	1	3		
水口東	普通	普通	6	6	6	18	18	
甲南	総合	総合	3	3	3	9	9	
信楽	工業	普通	1	1	1	3	9	
		セラミック	1	1	1	3		
		デザイン	1	1	1	3		
石部	普通	普通	4	4	4	12	12	
甲西	普通	普通	6	6	8	20	20	
彦根東	普通	普通	8	8	8	24	24	
河瀬	普通	普通	6	6	6	18	18	
彦根西	家庭	普通	2	2	2	6	12	
		家庭科学	2	2	2	6		
彦根工業	工業	機械	2	2	2	6	19	
		電気	1	1	1	3		
		情報技術	1	1	1	3		
		建築・設備				1		1
		都市工学				1		1
		建設	1	1	1	2		2
環境化学	1	1	1	3	3			
彦根翔陽	総合	総合	5	5	5	15	15	
八幡	普通	普通	7	6	6	19	19	
八幡工業	工業	機械	2	2	2	6	18	
		電気	1	1	1	3		
		情報電子	1	1	1	3		
		建築	1	1	1	3		
		環境化学	1	1	1	3		
		商業	3	3	3	9		
八幡商業	商業	国際経済	1	1	1	3	15	
八幡商業	商業	情報処理	1	1	1	3		
八日市	普通	普通	6	6	7	19	19	
能登川	普通	普通	4	4	4	12	12	
八日市南	農業	農業技術	1	1	1	3	9	
		食品流通	1	1	1	3		
		緑地デザイン	1	1	1	3		
日野	総合	総合	4	4	4	12	12	
愛知	普通	普通	3	3	3	9	9	

学校名	学科名	科名	学級数			学科計	学校計
			1年	2年	3年		
長浜	福祉	普通	4	4	4	12	15
		福祉	1	1	1	3	
長浜北	普通	普通	5	5	6	16	16
長浜農業	農業	生物活用	1	1	1	3	12
		ガーデン	1	1	1	3	
		食品科学	1	1	1	3	
		環境デザイン	1	1	1	3	
長浜北星	総合	総合	5	4	5	14	14
伊吹	普通	普通	4	4	4	12	12
米原	理数	普通	5	5	5	15	18
		理数	1	1	1	3	
虎姫	普通	普通	5	5	5	15	15
伊香	普通	普通	4	4	4	12	12
高島	普通	普通	6	7	7	20	20
安曇川	総合	普通	2	2	2	6	18
		総合	4	4	4	12	
合計			262	256	268	786	786

学校名	学科名	科名	学級数				学校計
			1年	2年	3年	4年	
県立高校定時制							
大津清陵	普通	普通	2	2	2	2	8
大津清陵馬場分校	工業	普通	1	1	1	1	4
		機械 電気	1	1	1	1	8
瀬田	工業	機械	1	1	1	1	4
彦根東	普通	普通	1	1	1	1	4
彦根工業	工業	機械	1	1	1	1	4
長浜北星	商業	商業	1	1	1	1	4
合計			8	8	8	8	32

学校名	学科名	科名	各年の定員			
県立高校通信制						
大津清陵	普通	普通	320人			

学校名	学級数			学校計		
	1年	2年	3年			
県立中学校						
河瀬中学校	2	2	2	6		
守山中学校	2	2	2	6		
水口東中学校	2	2	2	6		
合計			6	6	6	18

学校名	障害種別	設置部				
		幼	小	中	高	専攻科
特別支援学校						
盲学校	視覚	○	○	○	○	○
聾話学校	聴覚	○	○	○	○	○
北大津養護学校	知的・肢体		○	○	○	
鳥居本養護学校	病弱		○	○	○	
長浜養護学校	知的・肢体		○	○	○	
長浜高等養護学校	知的				○	
草津養護学校	知的・肢体		○	○	○	
守山養護学校	病弱		○	○		
甲南高等養護学校	知的				○	
野洲養護学校	知的・肢体		○	○	○	
三雲養護学校	知的・肢体		○	○	○	
新旭養護学校	知的・肢体		○	○	○	
八日市養護学校	知的・肢体		○	○	○	
甲良養護学校	知的・肢体		○	○	○	

## 2 県立高等学校課程・学科地域別配置一覧（平成24年度）

### 【全日制課程】

		大津	湖南	甲賀	湖東	湖北	湖西	学校数	計
普通科単独		堅田 東大津	草津 玉川 守山 守山北 野洲	石部 甲西 水口東	彦根東 河瀬 八日市 能登川 愛知 八幡	長浜北 伊吹 虎姫 伊香	高島	21	33
普通科と専門 学科の併設	農業							0	
	工業			信楽				1	
	商業							0	
	家庭	大津			彦根西			2	
	福祉					長浜		1	
	音楽	石山						1	
	理数	膳所				米原		2	
	体育		草津東					1	
	美術		栗東					1	
	国際	北大津		水口				2	
総合						安曇川	1		
農業科単独			湖南農		八日市南	長浜農		3	3
工業科単独		瀬田工			彦根工 八幡工			3	3
商業科単独		大津商			八幡商			2	2
総合学科単独			国際情報	甲南	日野 彦根翔陽	長浜北星		5	5
学校数		8	9	6	13	8	2	46	46

### 【定時制課程】

		大津	湖南	甲賀	湖東	湖北	湖西	学校数	計
普通科単独		大津清陵（昼） 大津清陵馬場※			彦根東			3	3
工業科単独		瀬田			彦根工			2	2
商業科単独						長浜北星		1	1
学校数		3	0	0	2	1	0	6	6

※大津清陵馬場は分校

### 【通信制課程】

		大津	湖南	甲賀	湖東	湖北	湖西	学校数	計
普通科単独		大津清陵						1	1
学校数		1	0	0	0	0	0	1	1

### 3 中学校卒業(予定)者数の推移(全県)

現中3 現中2 現中1 現小6 現小5 現小4 現小3 現小2 現小1 現5歳 現4歳 現3歳 現2歳 現1歳

	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	31年	32年	33年	34年	35年	36年	37年	38年
全県計	20,747	19,715	19,088	19,279	18,592	17,859	17,432	16,750	17,283	17,251	17,068	16,361	16,073	15,655	15,526	14,515	14,370	13,922	13,988	13,746	14,439	13,773	14,226	14,276	14,540	14,405	14,448	14,658	14,468	14,131	13,855	13,350	13,843	13,687	13,638	13,422	13,847



※ 平成25年～平成33年は、平成24年5月1日の学校基本調査による現員  
 ※ 平成34年以降は、平成24年4月1日付けの県人口推計(統計課)による

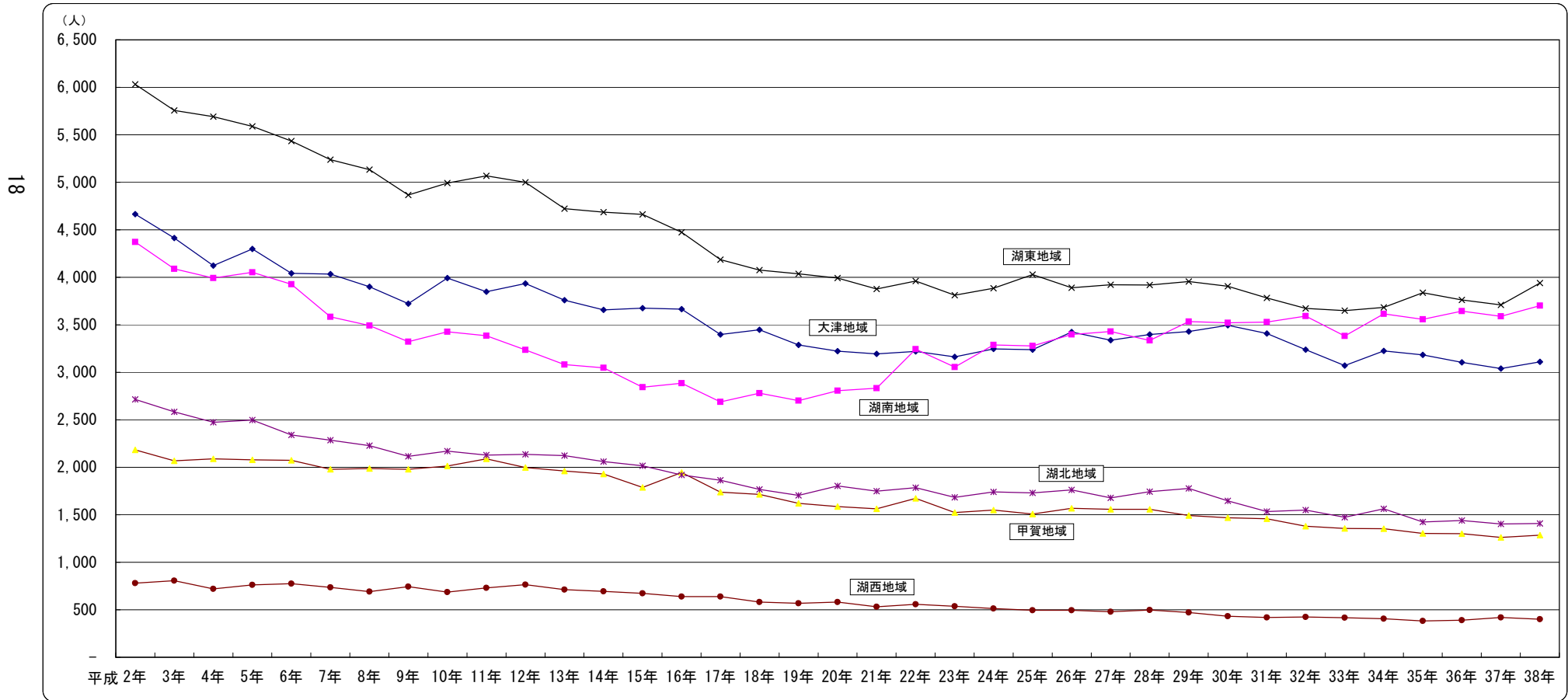
#### 4 中学校卒業(予定)者数の推移(地域別)

	現中3 現中2 現中1 現小6 現小5 現小4 現小3 現小2 現小1 現5歳 現4歳 現3歳 現2歳 現1歳																																				
	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	31年	32年	33年	34年	35年	36年	37年	38年
大津地域	4,666	4,414	4,123	4,298	4,042	4,035	3,901	3,723	3,993	3,849	3,935	3,760	3,657	3,675	3,664	3,397	3,448	3,289	3,222	3,193	3,220	3,163	3,245	3,239	3,425	3,339	3,397	3,430	3,496	3,408	3,237	3,071	3,224	3,182	3,104	3,038	3,111
湖南地域	4,371	4,088	3,992	4,053	3,928	3,584	3,492	3,323	3,428	3,385	3,235	3,080	3,047	2,843	2,885	2,689	2,781	2,702	2,805	2,832	3,243	3,054	3,289	3,277	3,398	3,429	3,334	3,534	3,520	3,529	3,591	3,382	3,616	3,557	3,643	3,589	3,702
甲賀地域	2,184	2,068	2,088	2,078	2,072	1,980	1,986	1,979	2,013	2,089	1,998	1,962	1,930	1,787	1,946	1,739	1,715	1,620	1,586	1,562	1,673	1,524	1,550	1,508	1,569	1,557	1,558	1,492	1,469	1,458	1,379	1,356	1,353	1,303	1,300	1,263	1,285
湖東地域	6,031	5,756	5,690	5,590	5,435	5,239	5,134	4,866	4,993	5,069	4,999	4,723	4,686	4,663	4,473	4,186	4,076	4,037	3,992	3,878	3,960	3,812	3,886	4,028	3,890	3,922	3,918	3,955	3,905	3,782	3,673	3,650	3,682	3,838	3,761	3,709	3,940
湖北地域	2,714	2,583	2,475	2,497	2,341	2,285	2,228	2,115	2,170	2,128	2,136	2,124	2,060	2,015	1,919	1,864	1,768	1,705	1,803	1,749	1,786	1,684	1,742	1,730	1,763	1,678	1,743	1,777	1,646	1,534	1,551	1,474	1,562	1,424	1,441	1,403	1,409
湖西地域	781	806	720	763	774	736	691	744	686	731	765	712	693	672	639	640	582	569	580	532	557	536	514	494	495	480	498	470	432	420	424	417	406	383	389	420	400
計	20,747	19,715	19,088	19,279	18,592	17,859	17,432	16,750	17,283	17,251	17,068	16,361	16,073	15,655	15,526	14,515	14,370	13,922	13,988	13,746	14,439	13,773	14,226	14,276	14,540	14,405	14,448	14,658	14,468	14,131	13,855	13,350	13,843	13,687	13,638	13,422	13,847

平成24年3月卒業生との比較(人) →  
 平成24年3月卒業生を100として比較 →

	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→		
	100	100.4	102.2	101.3	101.6	103.0	101.7	99.3	97.4	93.8	97.3	96.2	95.9	94.3	97.3	93.8	97.3	96.2	95.9	94.3	97.3	93.8	97.3	96.2	95.9	94.3	97.3	93.8	97.3	96.2	95.9	94.3	97.3	93.8	97.3	96.2	95.9	94.3	97.3

※ 平成25年～平成33年は、平成24年5月1日の学校基本調査による現員  
 ※ 平成34年以降は、平成24年4月1日付けの県人口推計(統計課)による  
 ※ 旧志賀町は合併前の数値についても比較のため、大津地域として算定





6 全日制高等学校における普通科・専門学科・総合学科別の進路状況

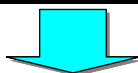
(単位:%)

学科		各年3月卒業生進路状況														
		大学等					専門学校等					就職				
		H20	H21	H22	H23	H24	H20	H21	H22	H23	H24	H20	H21	H22	H23	H24
普通科	普通科	66.0	67.6	67.9	66.8	66.9	20.4	19.1	19.4	20.3	20.0	9.1	8.5	7.7	7.6	8.3
	普通科系 専門学科	70.5	73.8	71.3	67.6	65.1	16.8	15.2	16.1	17.9	17.8	3.7	4.6	3.4	7.6	6.2
	普通科+ 普通科系専門学科	66.2	67.8	68.0	66.8	66.9	20.3	19.0	19.3	20.2	20.0	9.0	8.3	7.6	7.6	8.2
職業系専門学科	農業学科	13.8	14.3	11.2	10.5	9.8	13.8	12.1	18.2	21.0	20.7	64.2	63.1	58.8	58.5	59.7
	工業学科	19.5	20.9	25.2	19.7	21.4	16.8	19.0	18.5	19.3	16.6	61.7	56.9	52.3	57.0	57.4
	商業学科	35.8	37.2	34.0	46.2	33.0	25.9	20.0	29.5	18.7	21.7	36.6	40.0	32.7	33.0	40.3
	家庭学科	33.1	31.4	28.1	32.9	25.2	28.3	30.2	27.5	38.8	40.6	23.5	30.2	24.2	21.7	18.2
	福祉学科	46.2	65.7	55.0	81.6	43.2	28.2	14.3	12.5	5.3	32.4	25.6	14.3	30.0	13.2	21.6
職業系専門学科	24.1	25.2	25.6	26.9	22.8	19.7	18.7	21.9	20.9	21.1	51.9	51.0	45.6	47.3	49.5	
総合学科	41.4	43.8	38.4	40.5	37.1	26.4	24.4	26.2	23.9	24.9	26.7	23.0	29.6	30.0	33.1	

7 県立高等学校（全日制）の第1学年募集定員による学校規模（地域別）

【平成2年度】

学級数	大津地域			湖南地域		甲賀地域		湖東地域		湖北地域		湖西地域	
	校数	校数	校名	校数	校名	校数	校名	校数	校名	校数	校名	校数	校名
11	4	2	東大津 膳所					1	八幡(普)10(看)1			1	高島
10	7	2	北大津 大津商業(商)10	1	守山	2	甲西 水口東	2	彦根東 八日市				
9	8	3	堅田 大津(普)7(家)2 石山(普)8(音)1	3	草津東 玉川 野洲			1	河瀬	1	伊香(普)7(農)2		
8	9	1	瀬田工業(工)8	3	守山北 栗東 国際情報(商)4(工)4	1	水口	2	彦根工業(工)8 八幡工業(工)8	2	長浜北(普)7(家)1 長浜商工(工)5(商)3		
7	7			1	草津			4	能登川 愛知 日野(普)5(商)2 彦根西(普)5(家)2	1	虎姫	1	安曇川(普)2(商)5
6	6					1	甲南(普)3(農)1(工)1	2	彦根商業(商)6 八幡商業(商)6	3	伊吹 長浜 米原(普)4(理)2		
5	2			1	湖南農業(農)5					1	長浜農業(農)5		
4	1							1	八日市南(農)4				
3	1					1	信楽(普)1(工)2						
合計	45		8		9		5		13		8		2
平均 学級数			9.6		8.1		7.4		7.7		6.9		9.0



【平成24年度】

学級数	大津地域			湖南地域		甲賀地域		湖東地域		湖北地域		湖西地域	
	校数	校数	校名	校数	校名	校数	校名	校数	校名	校数	校名	校数	校名
11	1	1	膳所(普)10(理)1										
10	1	1	東大津										
9	1	1	石山(普)8(音)1										
8	3	1	大津(普)6(家)2	1	草津東(普)7(体)1			1	彦根東				
7	5	2	瀬田工業(工)7 大津商業(商)7	2	玉川 栗東(普)6(美)1			1	八幡				
6	14	1	北大津(普)5(国)1	3	草津 守山 国際情報(総)6	3	水口(普)5(国)1 水口東 甲西	4	河瀬 彦根工業(工)6 八幡工業(工)6 八日市	1	米原(普)5(理)1	2	高島 安曇川(普)2(総)4
5	9	1	堅田	2	守山北 野洲			2	彦根翔陽(総)5 八幡商業(商)5	4	長浜(普)4(福)1 長浜北 虎姫 長浜北星(総)5		
4	8			1	湖南農業(農)4	1	石部	3	彦根西(普)2(家)2 能登川 日野(総)4	3	伊吹 伊香 長浜農業(農)4		
3	4					2	甲南(総)3 信楽(普)1(工)2	2	愛知 八日市南(農)3				
合計	46		8		9		6		13		8		2
平均 学級数			7.9		6.0		4.7		5.2		4.8		6.0

8 高等学校（全日制）第1学年募集定員の学級数別学校数の全国比較

（平成24年度 都道府県立）

第1学年の学級数	全国		滋賀県				
	学校数	比率（%）	学校数	比率（%）			
1学級	67	2.1%	0	0.0%			
2学級	228	7.1%	0	0.0%			
3学級	282	8.7%	4	8.7%			
4学級	417	12.9%	8	17.4%			
5学級	445	13.8%	9	19.6%			
6学級	630	19.5%	14	30.4%			
7学級	484	15.0%	5	10.9%			
8学級	446	13.8%	3	6.5%			
9学級	168	5.2%	1	2.2%			
10学級	54	1.7%	1	2.2%			
11学級	9	0.3%	1	2.2%			
12学級	0	0.0%	0	0.0%			
13学級	0	0.0%	0	0.0%			
14学級	0	0.0%	0	0.0%			
15学級以上	2	0.1%	0	0.0%			
合計	3,232	100%	46	100%			
1校平均学級数	5.63学級		5.70学級				
1校平均学級数全国順位	—		19位				
1校平均学級数 全国順位 (多い順)	1位	大阪	7.30	1校平均学級数 全国順位 (少ない順)	47位	北海道	4.05
	2位	埼玉	7.12		46位	山口	4.10
	3位	神奈川	6.94		45位	島根	4.12
	4位	愛知	6.91		44位	岩手	4.16
	5位	奈良	6.75		43位	高知	4.23
	6位	沖縄	6.61		42位	秋田	4.35
	7位	京都	6.59		41位	山形	4.38
	8位	福岡	6.49		40位	鹿児島	4.45
	9位	千葉	6.47		39位	長崎	4.59
	10位	和歌山	6.37		38位	青森	4.63

※分校を除く

出典：富山県教育委員会作成資料（平成24年3月）より